



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ 週報 No.21

2025.12.10 (No.3268)

ロータリーで善の循環を

第2560地区ガバナー／室賀信宏
会長／柳取崇之
会長エレクト／小林吾郎(クラブ奉仕A)
副会長／吉井直樹
幹事／早川滝徳
S A A／長谷川正実
会計／船越良則
直前会長／渡辺良一
会長ノミニー／明田川賢一(クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
<https://www.sanjorotary.site>

■本日の出席会員数：56名中41名
■先々週出席率：74.55%

【ビジター】

- ・三条北RC会長 羽賀一真様
- ・創立40周年実行委員長 外山裕一様

【先週のメークアップ】

- [12.4] 三条RACへ
・梨本次郎さん
- [12.6] 地区運営会議・富山ガバナー
エレクト渡米壮行会(新潟)へ
・外山浩玲さん

よいことの
ために
手を取りあおう
2025～2026年度国際ロータリー会長メッセージ



「茜さす空と雲海」

会長挨拶

柳取崇之 会長



皆さんこんにちは。

本日は三条北RCから羽賀会長、40周年実行委員会の外山委員長よりお越しいただいております。後ほどお話を頂きますので宜しくお願ひ致します。

さて、ロータリークラブでは、11月を「ロータリー財団月間」と定めています。この期間は、ロータリー財団の活動への理解を深め、支援を呼びかける機会となります。

プログラムの都合で一ヶ月遅れの卓話にての財団報告となりました。地区財団委員の嘉瀬さんよろしくお願ひします。

財団の活動で最初に思うことは何といってもポリオ撲滅についての活動だと思います。

私が小学生だった昭和40年初め、同学年にいわゆる小児麻痺を患っている方がおりました。

強度な眼鏡をかけており、歩行もかなり大変そうな中、毎日徒步で通学をしていました。日々の生活にも苦労している事は子供ながらに想像できました。

いま思うと当時の事はよく分かりませんが、同じ小学校に通っていると言う事は、当時の行政等の支援も医療も障害がある方の生活環境は、今のように充実していなかったと推測され、ご家族の方は大変なご苦労をされたのではないかと思

います。

今日は嘉瀬委員の話を聞きながら、ロータリー財団の意義と私たちのロータリー活動が地域社会に貢献する事とは何なのか、今一度思いを寄せて奉仕活動の意味を理解したいと思います。

以上 挨拶を終わります。

幹事報告



早川滝徳 幹事

◎地区事務所より

「ガバナーノミニーデジグネット決定のお知らせ」

地区ガバナーノミニーデジグネット

(2028-29年度ガバナー)

長谷川寿一 氏 (新発田城南RC)

◎三条ローターアクトクラブより

「12月第二例会のご案内」

日 時 12月18日（木） 19：30～

会 場 リサーチコア 4階・異業種交流室

卓 話 三条東RC会長 栗山正男 様

◎三条東RCより

「市内4RC会長幹事会 開催のご案内」

日 時 12月19日（金） 正午より

会 場 栗山庄之助商店

◎次週17日（水）は、夜例会です。

夜例会ご欠席の方は事務局で記帳または

他クラブでマークアップをお願いいたします。

ニコニコBOX

三条北RC 羽賀一真 会長

本日は当クラブ40周年式典へのご出席のお願いに伺いました。よろしくお願ひいたします。

三条北RC 外山裕一 創立40周年実行委員長
BOXに協力します。

柳取崇之 会長

三条北RC羽賀会長、外山実行委員長を歓迎いたします。

荻根澤隆雄さん

最近は例会に出席出来ずに申し訳ありませんでした。

今週から当三条RCに入会38年となります。引き続き楽しませていただきます。

嘉瀬一洋さん

地区財団委員会に出向しているご縁で、本日は卓話をさせていただきます。私のような未熟者の説明でお耳汚しをいたしますが、よろしくお願ひいたします。

成田秀雄さん

中国出張、コンクール出場等で、久しぶりの出席です。

嘉瀬さん卓話ご苦労様です。

菊池 渉さん

車のタイヤは冬仕様、私の装いも冬仕様、雪国の冬を楽しみます。

渡辺良一さん

今年、人生初の“第九”を聞くことになりました。

嘉瀬さん卓話よろしくお願ひいたします。

落合孝夫さん

財団卓話、嘉瀬さんよろしくお願ひします。

三条北RC羽賀会長、外山様ようこそおいでくださいました。

小林吾郎さん

寒くなりました。

嘉瀬さん卓話よろしく。

松永隆夫さん、長谷川正実さん

三条北RC羽賀会長、外山実行委員長ようこそお越し頂きました。

高橋 司さん、 松永一義さん、 小林卓哉さん、
飯塚一樹さん、 歸山 肇さん、 斎藤弘文さん、
五十嵐晋三さん、 山田富義さん、 齊藤真澄さん、
安達俊明さん、 野水靖之さん、 杉山幸英さん、
小越憲泰さん、 船越良則さん、 渡部 宏さん、
早川滝徳さん、 岩橋美穂さん、 丸山行彦さん、
外山浩玲さん

地区ロータリー財団委員会補助金委員の嘉瀬一洋会員、本日は財団月間卓話よろしくお願ひいたします。

12月10日分 ¥ 35,000
今年度累計 ¥752,000



「財団月間」

地区ロータリー財団委員会 補助金委員会 委員

嘉瀬一洋 会員

大変僭越ではございますが、野崎さんからバトンを頂戴し地区ロータリー財団委員会に所属する事になりましたご縁で本日はお話しさせて頂きます。

最初に、ロータリー財団は「TRF」とお聞きして、何の略だろう?と思いました。私の思いつくところTRFとは小室哲哉プロデュースのダンスユニットでした。(笑)とまあ、こんな調子でスタートした財団委員会でした。

出向して半年となりましたが、まだまだ分からないうことだらけです。既に財団の内容について熟知している諸先輩方ばかりだと思いますので、これからしばらくの間ですがロータリーの友情に免じてご容赦頂きたいと存じます。

本日は、①ロータリー財団の発足、②財団組織と仕組みの概要、③補助金に関して、④ポリオについて、といった流れで説明差し上げます。

1. ロータリー財団の発足

財団の父と言われるアーチクランフさんは、アメリカはペンシルベニア州で生まれ、貧しい家庭に育ったそうです。家計の足しにするため12歳で学校を中退して仕事に就き、16歳の時に、材木会社に勤めながら夜間学校に通い、努力に努力を重ね、会社が経営危機に陥った際にマネージャーに起用され経営を好転させ米国中西部の材木業界で最も収益性の高い企業の一つまでに発展させました。やがてその会社のオーナーになり、1911年に「材木一卸売並びに小売」の職業分類でクリーブランド・ロータリー・クラブの創立会員となりました。翌年に同クラブの会長職を務め、その時に立ち上げたのが「非常時基金」でした。

その後、1916-17年度のRIの会長になった際に「全世界的な規模の慈善・教育・社会奉仕の分野でよいことをするために基金をつくりよう」と提案したことが財団のスタートとなります。しかしながら集まらない寄付金は、最初はわずか26.5ドル（今にして約4,000円）、6年たってようやく700ドル、1928



ロータリー財団について (財団月間卓話)

2025年12月10日
第2560地区ロータリー財団委員会

ロータリー財団 (TRF)



本日の説明内容

- ロータリー財団の発足
- ロータリー財団組織と仕組みの概要
- 補助金に関して
- ポリオプラスプログラムの活動について



世界でよいことをしよう！



財団の使命

ロータリアンが
人々の健康状態を改善し
教育の支援を高め
貧困を救済することを通じて
世界理解、親善、平和を達成できるようにすること

年に5,000ドルまで成長した基金は「ロータリー財団」として認証され国際ロータリーから独立した別機関として設立しました。

自らの所属するRCで立ち上げた「非常時基金」を、RIの会長職に就いた際にも同じ思いで世界発信するという行動力と想いは、本当に素晴らしいと思います。

2. 財団組織と仕組みの概要

さて続いて組織と室賀年度の委員長方針は以下のようになっております。

先週はポール・ハリス・フェローに船越さんが表彰されました、おめでとうございます。メンバーからの寄付金は、3年後に使用出来るというシステムで、年次基金の約25%が地区補助金として当クラブが活用できる原資となっています。三条RCの場合には年会費徴収の際に、前期にプラス1万円、後期にプラス1万円を頂戴し、それぞれ財団への寄付金と米山への寄付金を拋出するという手法です。何ともテクニカルな理にかなった仕組みだと思いました。

次に恒久基金ですが、1982年に世界理解と平和のためのロータリー財団基金の設立をしました。管理委員会は基金の目的を世界中のロータリアンによりよく理解してもらうために、「恒久基金」と改称されたそうです。

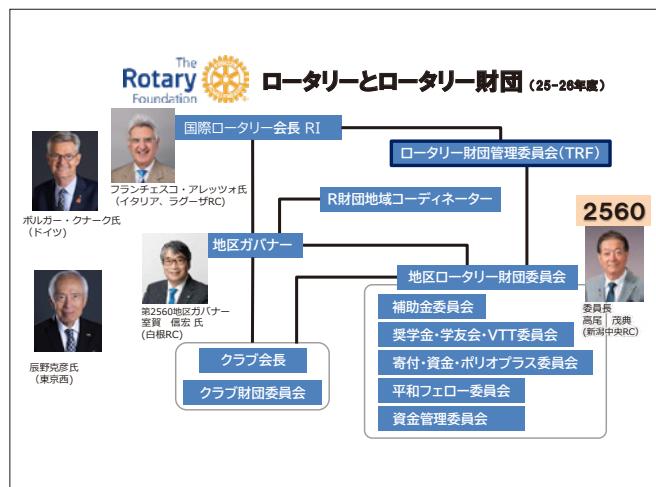
この恒久基金ですが、投資からの収益のみが年次基金に振り向けて各プログラムに使われます。さて、今年度の恒久基金の投資収益ですが、なんと12.7%となっています。この10年間での年換算利回りは7.1%です。非常に優秀な運用をされていると関心致しました。

ちなみに我が国のGPIF（年金積立金）は4.51%（25年間平均）となっています。使途指定寄付はあらかじめ使い道を決めて寄付するもので代表例がボリオプラスとなっています。

3. 補助金について

室賀年度での補助金配分額をご覧下さい。今年度
多くのクラブから申請があり希望された全てのプ
ロジェクトに配分されました。

今年は当クラブでは活用しませんでしたが、3年前の2023-24米山年度での年次基金実績から、来年度に使用可能な地区補助金額は993.17ドル（約15万円）となっています。先月の11月29日にイタリア軒



で開催されました補助金管理セミナーへは小林エレクト、渡部財団委員長に出席いただきましたから、あとは1月末までに覚書（MOU）を提出して、申請するというシステムとなっています。

何と来年の富山年度からは3年間の継続支援が可能となりました。三条市の社会奉仕的な事業に対して有効に活用できる資金となっていますので2月3日～4月5日までの間に、補助金システムを活用してぜひ申請して下さいませ。

4. ポリオについて

こちらは10月にANAクラウンホテルで開催されました地区大会で「ポリオ根絶」という題で講演頂きました、尾身茂さんの話を中心に紹介させて頂きます。

実はこの講演を聞くまでコロナワクチン接種の急先鋒であった尾身さんは大嫌いがありました。しかし今回の講演を聞きまして感染症に対する認識と尾身さんの苦労を理解することが出来ました。（以下、講演内容を抜粋）

【なぜパンデミックが繰り返されるのか？】

結核は昔、多くの人が感染している、しかし今は元気！私の体の中には結核菌がまだいる。休眠状態で、たまたま今のところ免疫力があるので抑えている。しかし病気などで免疫力が落ちてくる、そうすると体の中にいた結核菌が活性化してくるのです。

当時、結核というのは呼吸感染症の6人に1人が感染し半分が死んでいた。結核の死亡者は160万人（毎年）コロナ240万人（3年間）、結核は最も対策が難しい！

同じようにポリオウイルスに感染しても、多くの場合は発病しないそうです。感染者の5%ほどが発病し、1-2%が髄膜炎に至り、その一部が麻痺を起こし後遺症が残ると言われています。

1985年からロータリーはポリオに対して支援をしてくれた。

今から40年前！世界はポリオだらけ！日本も1960年には大流行！足が不自由な人が多かった。このポリオを封じ込めるには戦略は3つだけ！

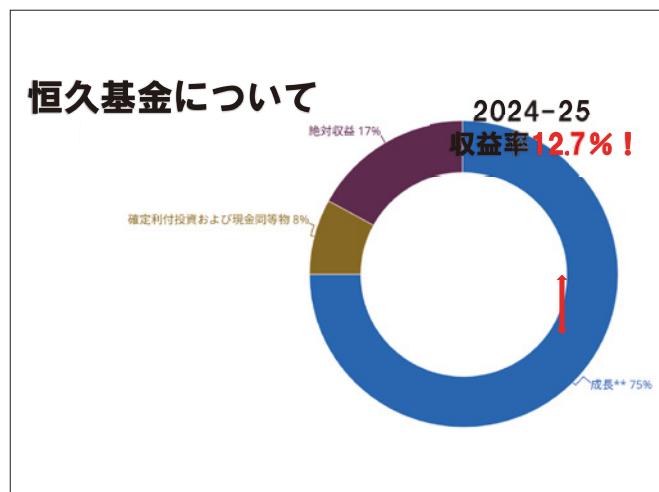
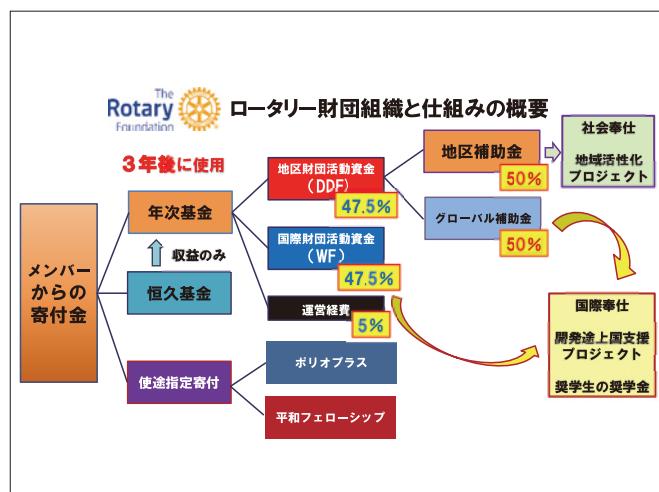
- 1) 定期の予防接種（しかし根絶は無理）
- 2) 5歳以下の子ども全て（95%以上）経口ワクチンを接種する
冬がいい！ワクチンがダメにならない
- 3) 急性弛緩性麻痺が出てきたら報告！（便を採取してポリオウイルスがあるか判断）


室賀年度地区財団委員会方針


 委員長
 高尾 茂典
 (新潟中央RC)

1. ロータリー財団の使命を理解し各クラブへの浸透を図る。
2. 全クラブが地区補助金を活用できるように推進する。
3. 全クラブがガバナーの地区財団目標数値を理解し達成するように促す。

・年次基金 1人150ドル×会員数
 ・恒久基金 ベネフクター 1,000ドル × 10名以上
 ・使途指定寄付(ポリオプラス) 1人30ドル × 会員数
 ・ボーラー・ハリス・フェロー(新規認証者 54名以上)
 ・ボーラー・ハリス・ソサエティ(新規認証者 10名以上)
4. ポリオ根絶に向けて啓発活動を行い理解を深める。




室賀年度地区補助金配分額

番号	地区／クラブ	補助金配分額(\$)
1	新発田	3,414
2	村上	1,109
3	水原	1,237
4	中条	1,867
5	新発田城南	803
6	豊栄	818
7	新発田中央	1,800
8	中条胎内	1,100
9	村上岩船	1,285
10	新潟	2,033
11	新潟東	2,519
12	新潟南	3,539
14	新潟西	903
15	佐渡南	547
16	新潟北	465
17	新潟中央	1,065
18	新潟万代	1,631
21	白根	1,253

番号	地区／クラブ	補助金配分額(\$)
22	新津中央	999
27	三条南	1,000
28	分水	618
29	見附	650
30	吉田	361
31	三条北	4,385
32	巻	494
34	三条東	575
37	長岡東	2,214
42	十日町	1,450
44	雪国魚沼	715
49	直江津	2,700
50	新井妙高	822
51	糸魚川	1,049
52	高田東	1,104
53	糸魚川中央	1,132
配分合計額:		47,656

ダラダラした麻痺、これはポリオ以外も非常に多い、ギランバレー症候群などと区別する事は難しい！人口10万人の地域には年に1例は急性弛緩性麻痺がおこる報告があった。ポリオでなくても報告！しかし報告がない地域がある、という事は報告しない、出来ないところは、嘘か・出来ないか・システムが無いか、という事である。報告して便を取るだけ！これを発展途上国でとにかくやった。

世界でのポリオワクチン接種で、50億円が足りない！ポリオの根絶会議を1990年に東京で開いた際に、さっきの戦略をやれば根絶できるから！足りないのはお金だけ！という事で日本、アメリカ、外務省、ロータリー、など多くの関係諸団体に声をかけたが全く資金を出す気はなし！フィリピンのマニラでもダメ！

3年目（1992年10月）となる中国の北京でも根絶会議が開催された。

その会議の3時間前にロータリーメンバー3名（アメリカ人、インド人、日本人）が、来て「提案がある、この北京の会議で中国に関して4歳未満からワクチン接種推進を決定してくれたら1.5億円を拠出する！」と提案があった。（当時、WHOの方針は「5歳未満」でしたが、唯一中国では多くのポリオ患者が4歳未満に集中、対象年齢を下げる目的を絞った効果的な効果がある）

その提案は、世界的な本部のとりまとめであるWHOとしては決めごとを変更しなければいけない、ロバート氏に伝えたがルールは曲げられず、ロータリーからは有難い話を頂いたが、WHOの信用にかかる、加盟国で決めた法律ルールを守らなきゃいけないというジレンマが起こった！

立場があつて折れない責任者ロバート氏、尾身さんはトイレに行くふりをして退席してくれ！とお願いして（なるべく長く行ってくれ）「200名の参加者を前に議長の尾身さんが承認してもらえますか？」全員承認。責任者ロバート氏が不在な中で決議された。

その会議には日本の政府の代表として外務省からも参加、一等書記官も参加、（当時はFAXやメールもなし）公電を打つて、局長、事務次官に連絡が行って、ロータリーに依頼する前に日本政府にお願いしたが、無償資金（ODA）はワクチンのような消耗品には拠出出来ないと決まり事優先であった。

そんな最中、ロータリーメンバーの昼食代や予算

The Rotary Foundation

寄付金を使う活動(DDF:地区財団活動資金)

地区補助金	グローバル補助金
<ul style="list-style-type: none"> ・社会奉仕 ・地区活性化プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・人道的プロジェクトの支援 ・職業研修チームの派遣 ・奨学金の支援
2026-27年度 993.17 \$	
ポリオプラス基金、ロータリー平和フェローシップ基金、ロータリー平和フェローシッププログラムへの寄贈	

【地区補助金申請スケジュール】

実施月	内容
11月	補助金管理セミナーへの参加
12月1日～1月31日	覚書(MOU)に署名の後、原本を地区事務所に提出
2月3日～4月5日	補助金システムでの申請期間（時間厳守）
4月	補助金委員会が確認・指導して申請の可否判断を実施
5月	地区よりロータリー財団へ一括申請
7月	ロータリー財団の承認 「地区補助金支給承認通知書」をクラブ受領

Rotary

ポリオ根絶の進展

撲滅まであと少し

**パキスタンとアフガニスタン
2025**

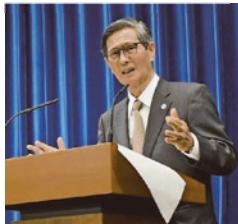
結核という病気

昔は6人に1人が感染して半分が死ぬ…
死亡者数は160万人(毎年)
コロナでは240万人(3年間で)

私の身体の中には結核菌がいる！(休眠)
今は免疫力があるので抑えている状態

同様にポリオウイルスに感染しても、多くの場合は発病しない。感染者の5%ほどが発病し、1～2%が脳膜炎に至り、その一部が麻痺を起こし後遺症が残る

感染症対策分科会 会長
尾身茂さん



を工面して協力してくれた！その民間団体のロータリーの皆さんとの善意から来た資金1.5億円が呼び水となって日本政府が拠出する7.5億円の呼び水となつた。（合計9億円）これが「日本の官民が本気になった！」という事が世界に伝わりあつという間に50億円が集まつた。

今、ビルゲイツが一生懸命寄付をしている、ここまでやってきたロータリーが辞めてしまえば、全てビルゲイツの手柄になつてしまう。(笑)

皆さんからの寄付金でやってきた運動！残すはパ

キスタンとアフガニスタンだけです。最後の1つ、2つが一番難しい！この最後がいかに大変か！地球上からポリオが根絶するまで、どうぞ今後もロータリーの皆さんぜひ宜しくお願ひします。

高市新総理が誕生しましたが、トランプさん（米国）はWHO撤退しちゃいました。世界で日本社会への信頼は我々が思う以上に大きい！わが国には感染症に対する治験がたくさんあるから、防衛費の一部でも感染症を安全保障の一環としてお願ひ出来ないかなあと思っています。

ボリオという病気（ボリオウイルス）
口から入り、腸で増殖して、便となって排出
感染しても多くは無症状で発症しない

当時ボリオの根絶は無理と言われていた

1990年 東京でボリオ根絶会議
ボリオワクチン接種で50億円が不足
しかし、資金援助の申し出は無し

1992年 北京での会議
3名のロータリアン（日本、アメリカ、インド）
からの提案が…

感染症対策分科会 会長
尾身茂さん



中国で4歳からのワクチン投与をすれば
ロータリーから1.5億円を拠出する約束
これが呼び水…日本政府も拠出(7.5億円)

中国では「全ての子ども」に接種を要請
3年後にはボリオが根絶（→4歳未満に）

日本の官民が本気になった動きが世界に伝わり50億円が集まつた！

汚職、ワクチンへの風評もあった
メコン川に水上検問所を設置して

感染症対策分科会 会長
尾身茂さん




三条北ロータリークラブ 創立40周年 記念式典・祝賀会のご案内

当クラブがスポンサークラブとして1986年に国際ロータリーに加盟承認された三条北RCが来年40周年を迎えます。

本日は、三条北RC会長の羽賀一真様、創立40周年実行委員長の外山裕一様よりお越しいただき、周年記念式典・祝賀会のPRをしていただきました。

日 時／4月18日(土)

登録受付／12：30～13：30

記念式典／13：30～14：30

記念公演／15：00～15：10
「法華宗総本山本成寺鬼踊り」

祝賀会／15：20～17：30

会 場／ジオ・ワールドビップ



次週例会 12月24日 「会員卓話」 白倉徳幸 会員

次々週例会 12月31日 休会（年末）



皆様の写真で
本週報の表紙を
飾って
みませんか？

今期の三条ロータリークラブ週報では、皆様より表紙の写真を募集いたします。
日常の風景から旅先のスナップ・渾身のワンカットなど、会員様の素敵な写真をご提供ください。
画像タイトル(キャプション)を入れてメールでお送りください。
宛先は渋谷会員宛「m-shibuya@san-in.biz」までお願いいたします。
※投稿者名を非掲載希望の方は、メール送信時にその旨ご記載ください。
※応募者多数の場合は掲載されない場合もございます。ご容赦願います。